

日本看護協会認定看護管理者教育機関

# 令和6年度 認定看護管理者教育課程 ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベル

## 募集要項

★申込はWeb限定  
★必要書類は郵送

### □ ファーストレベル 開講期間

#### 第1回

令和6年5月10日(金)～6月12日(水)

#### 第2回

令和6年7月17日(水)～8月21日(水)

#### 第3回

令和6年10月18日(金)～12月17日(火)

(上記各日程のうち20日間程度)

### □ セカンドレベル 開講期間

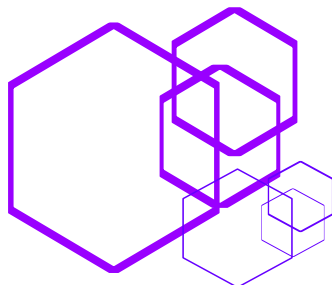
令和6年8月27日(火)～11月21日(木)

(上記日程のうち38日間程度)

### □ サードレベル 開講期間

令和6年6月11日(火)～10月11日(金)

(上記日程のうち38日間程度)



## ＜教育理念＞

多様なヘルスケアニーズを持つ個人・家族及び地域住民に対して、質の高い看護サービスを提供することをめざし、様々な状況に対応できる看護管理者を育成する。以って、看護の水準の維持及び向上に寄与し、保健医療福祉に貢献する。

### ✔ ファーストレベル

#### ＜教育目的＞

看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。

#### ＜到達目標＞

- ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。
- 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。
- 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。

#### ＜受講要件＞

- 日本国の看護師免許を有する者。
- 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。
- 管理業務に関心がある者。

#### ＜教育課程＞ ( )日本看護協会規定時間

### ✔ セカンドレベル

#### ＜教育目的＞

看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。

#### ＜到達目標＞

- 組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。
- 保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。

#### ＜受講要件＞

- 日本国の看護師免許を有する者。
- 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。
- 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者。または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者。  
※副看護部長相当の職位とは、保健医療福祉に関連した組織において、看護管理を行う立場を指す。

#### ＜教育課程＞ ( )日本看護協会規定時間

### ✔ サードレベル

#### ＜教育目的＞

多様なヘルスケアニーズをもつ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する。

#### ＜到達目標＞

- 保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理に与える影響を考察することができる。
- 社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護現場の現状を分析し、データ化して提示することができる。
- 経営管理の視点に立ったマネジメントを展開できる。

#### ＜受講要件＞

- 日本国の看護師免許を有する者。
- 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。
- 認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者。または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者。

#### ＜教育課程＞ ( )日本看護協会規定時間

教科目(時間)	単元	教科目(時間)	単元	教科目(時間)	単元
ヘルスケアシステム論Ⅰ 15(15)	1) 社会保障制度概論 2) 保健医療福祉サービスの提供体制 3) ヘルスケアサービスにおける看護の役割	ヘルスケアシステム論Ⅱ 15(15)	1) 社会保障制度の現状と課題 2) 保健医療福祉サービスの現状と課題 3) ヘルスケアサービスにおける多職種連携	ヘルスケアシステム論Ⅲ 36(30)	1) 社会保障制度・政策の動向 2) 看護制度・政策の動向 3) ヘルスケアサービスの創造
組織管理論Ⅰ 15(15)	1) 組織マネジメント概論 2) 看護実践における倫理	組織管理論Ⅱ 36(30)	1) 組織マネジメントの実際 2) 看護管理における倫理	組織管理論Ⅲ 36(30)	1) 組織デザインと組織運営 2) 組織における倫理
人材管理Ⅰ 30(30)	1) 労務管理の基礎知識 2) 看護チームのマネジメント 3) 人材育成の基礎知識	人材管理Ⅱ 45(45)	1) 人事・労務管理 2) 多職種チームのマネジメント 3) 人材を育てるマネジメント	人材管理Ⅲ 15(15)	1) 社会システムと労務管理 2) 看護管理者の育成
資源管理Ⅰ 15(15)	1) 経営資源と管理の基礎知識 2) 看護実践における情報管理	資源管理Ⅱ 15(15)	1) 経営資源と管理の実際 2) 看護管理における情報管理	資源管理Ⅲ 30(30)	1) 経営戦略 2) 財務管理 3) 組織的情報管理
質管理Ⅰ 15(15)	1) 看護サービスの質管理	質管理Ⅱ 30(30)	1) 看護サービスの質保証 2) 安全管理	質管理Ⅲ 33(30)	1) 経営と質管理 2) 組織の安全管理
統合演習Ⅰ 15(15)	1) 演習	統合演習Ⅱ 51(45)	1) 演習 2) 実習	統合演習Ⅲ 48(45)	1) 演習 2) 実習
計 105		計 192		計 198	

## ＜修了要件＞

認定看護管理者カリキュラム基準に定める全教科目の修得をもって認定看護管理者教育課程の修了とする。

教科目の修了とは、以下の項目を満たした場合をいう。

- 各教科目の所定の時間数の4/5以上出席していること。
- 各教科目のレポート評価がC以上(A・B・C・Dの4段階)であること。

A:80点~100点、B:70点~79点、C:60点~69点、D:59点以下

## 〈認定看護管理者教育課程について〉

認定看護管理者とは「日本看護協会認定看護管理者認定審査に合格し、管理者として優れた資質を持ち、創造的に組織を発展させることができる能力を有すると認められた者」をいいます。日本看護協会では、認定看護管理者に必要な教育課程を、ファーストレベル、セカンドレベル及びサードレベルの3課程と定めています。

〈募集概要〉 ※日程については現在調整中のため、変更になることがあります。

期間	<p>✔ <b>ファーストレベル開催期間</b></p> <p>【第1回】集合開催 令和6年5月10日(金) ～6月12日(水)</p> <p>【第2回】集合開催 令和6年7月17日(水) ～8月21日(水)</p> <p>【第3回】オンライン・集合開催 令和6年10月18日(金) ～12月17日(火)</p> <p>上記各日程のうち20日間程度</p>	<p>✔ <b>セカンドレベル開催期間</b></p> <p>令和6年8月27日(火) ～11月21日(木)</p> <p>上記日程のうち35日間程度</p> <p>※日程の詳細は、受講決定の際にお知らせいたします。</p>	<p>✔ <b>サードレベル開催期間</b></p> <p>令和6年6月11日(火) ～10月11日(金)</p> <p>上記日程のうち38日間程度</p> <p>※日程の詳細は、受講決定の際にお知らせいたします。</p>
	<p>✔ <b>申込期間(単回申込のみ可)</b></p> <p>第1回 / 第2回 / 第3回 令和6年3月6日(水) ～3月20日(水)</p>	<p>✔ <b>申込期間</b></p> <p>令和6年3月6日(水) ～3月26日(火)</p>	<p>✔ <b>申込期間</b></p> <p>令和6年3月6日(水) ～3月26日(火)</p>
	<p>※ <b>●申込は Web で ●必要書類は郵送、いずれも申込期間内に 申込完了・必着のこと</b></p>		
	<p>✔ <b>受講決定</b> 4月上旬頃</p>	<p>✔ <b>受講決定</b> 4月中旬頃</p>	<p>✔ <b>受講決定</b> 4月中旬頃</p>
定員	各 80 名	70 名	30 名
受講料	<p>&lt;第1回/第2回/第3回&gt;</p> <p>日本看護協会 会員 121,000 円 日本看護協会 非会員 242,000 円 (レポート審査料を含む・税込)</p>	<p>日本看護協会 会員 223,300 円 日本看護協会 非会員 446,600 円 (レポート審査料を含む・税込)</p>	<p>日本看護協会 会員 288,200 円 日本看護協会 非会員 576,200 円 (レポート審査料を含む・税込)</p>
	<p>&lt;受講修了後&gt;</p> <p>修了証明申請料 16,500 円 (税込)</p>	<p>&lt;受講修了後&gt;</p> <p>修了証明申請料 16,500 円 (税込)</p>	<p>&lt;受講修了後&gt;</p> <p>修了証明申請料 16,500 円 (税込)</p>
提出書類	<p>1. 受講動機と課題</p> <p>2. 受講要件証明書【様式9】</p> <p>3. 長3サイズの返信用封筒 (返信先を記載し、<b>94円</b>切手を貼付のこと)</p>	<p>1. 小論文</p> <p>2. 受講要件証明書【様式9】</p> <p>3. 受講要件確認の書類 (①・②のうちどちらか1つ)</p> <p>①ファーストレベル修了証明書のコピー または</p> <p>②勤務証明書【様式8】</p> <p>4. 長3サイズの返信用封筒 (返信先を記載し、<b>94円</b>切手を貼付のこと)</p>	<p>1. 小論文</p> <p>2. 受講要件証明書【様式9】</p> <p>3. 受講要件確認の書類 (①・②のうちどちらか1つ)</p> <p>①セカンドレベル修了証明書のコピー または</p> <p>②勤務証明書【様式8】</p> <p>4. 長3サイズの返信用封筒 (返信先を記載し、<b>94円</b>切手を貼付のこと)</p>

「勤務証明書(様式8)」「受講要件証明書(様式9)」「受講辞退届(様式10)」は東京都看護協会のホームページからダウンロードしてください。

### <ファーストレベル教育課程>

- 1) 受講動機と課題「自職位を明確にし、受講動機と今後、学びをどのように活かすか」を述べて下さい。
- 2) 書式・作成
  - (1) タイトルは、「受講動機」と記載をしてください。
  - (2) 文字数：400 字以内（本文のみ） A 4 用紙 1 枚に記載してください。

### <セカンドレベル教育課程>

- 1) 小論文課題「直近 3 年以内にあなたが取り組んだ看護実践を 1 つ取り上げ、自職位の立場を明確にした上で看護管理のプロセスに沿って記述し考察して下さい。」  
その際、以下の視点から 1 つ選び記述して下さい。

①人材育成 ②多職種との連携 ③看護倫理 ④リスクマネジメント

- 2) 書式・作成
  - (1) 内容を表すタイトルを付けて記述して下さい。
  - (2) 文字数：1000 字以内（本文のみ、引用文献は文字数には含まない）  
※参考文献は不要。引用文献のみ記載し、「本文」+「引用文献」を A 4 用紙 1 枚に記載して下さい。

### <サードレベル教育課程>

- 1) 小論文課題「直近 5 年以内にあなたが取り組んだ看護管理実践を 1 つ取り上げ、自職位の立場を明確にした上で看護管理のプロセスに沿って記述し考察して下さい。」  
その際、以下の視点から 1 つ選び記述して下さい。

①経営への参画 ②人材育成/キャリア開発 ③地域連携 ④リスクマネジメント

- 2) 書式・作成
  - (1) 内容を表すタイトルを付けて記述して下さい。
  - (2) 文字数：1000 字以内（本文のみ、引用文献は文字数には含まない）  
※参考文献は不要。引用文献のみ記載し、「本文」+「引用文献」を A 4 用紙 1 枚に記載して下さい。

【記載例】

### <三課程共通>

- 書式：● A 4 用紙（縦）に横書き  
● 横 40 文字×縦 42 行に設定
- 書体：● MS 明朝体、10.5 ポイントを使用  
● 余白は上下左右 20mm
- 1 行目：タイトル  
2 行目：施設名・職位・氏名（右揃え）  
3 行目：本文
- 文末：文字数を明記  
その他：「である」調で記載のこと

1 行目  
2 行目  
3 行目から

タイトル 施設名・職位・氏名
-本文-
(文字数)

### <ファーストレベル>

- 認定看護管理者教育課程運営・審査委員会において、受講動機と課題および応募書類による審査を行います。

	項目	評価の視点	配点
1	課題の理解	1) 課題を正しく理解している	10点
2	論述力	1) 自己の課題や自身の職位に応じた論旨である 2) 論点・論旨が明確で具体的である 3) 看護経験をふまえて自分の言葉で表現している。	30点
3	記述の適切性	1) 規定に沿って記述されている。(書式設定等) 2) 誤字・脱字など表記に誤りがない。 3) 記述に倫理的配慮がある (個人や組織が特定されない表現である)	10点
合計			50点

### <セカンドレベル・サードレベル>

- 認定看護管理者教育課程運営・審査委員会において、小論文(下記評価基準参照)と応募書類による審査を行います。

#### <小論文評価基準>

	項目	評価の視点	配点
1	課題の理解	1) 小論文の課題(テーマ)を正しく理解している。	10点
2	管理的視点	1) 管理の視点で述べている。 2) 看護管理の経験を具体的に述べている。	20点
3	論述力	1) テーマや自身の職位に応じた論旨である。 2) 論点・論旨が明確で具体的である。 3) 自身の言葉で述べられている。 4) 語法や言葉の使い方等が適切である。 5) 文章が論理的である。	50点
4	記述の適切性	1) 規定に沿って記述されている。(書式設定等) 2) 誤字・脱字など表記に誤りがない。 3) 記述に倫理的配慮がある。	20点
合計			100点

※ 会員・非会員は受講者選考に影響しません。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">申込方法</p>	<p>●お申込みは<u>申込期間内</u>に『Web で申込み』いただき、『提出書類を協会宛に郵送』ください。          ※提出書類は、下記「応募書類チェックリスト」を参照ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>Web 申込みは、東京都看護協会ホームページからお申込みください。            ▶トップページ ⇒ (1)看護職の皆様へ ⇒ (2)認定看護管理者教育課程 ⇒ (3)研修一覧の順で進み、必要事項を登録してください。</li> <li>Web 申込後、必要書類を<u>郵送</u>してください。様式は東京都看護協会ホームページ『各種ダウンロード』よりダウンロード可能です。</li> <li>セカンドレベル・サードレベルに申込みされる方の受講要件確認書類は、下記「応募書類チェックリスト」の「3. 受講要件確認の書類」の①・②のいずれかです。</li> <li>受講の可否は返信用封筒で通知しますので、必ず返信先の宛先をご記入ください。</li> <li>日本看護協会の会員とは、<b>令和6年度の会員手続きが完了している方</b>です。令和5年度に会員でも<b>令和6年度の手続きがされていない場合は非会員扱い</b>となります。</li> <li>受講決定後に会員になられても、受講料は非会員価格となりますのでご注意ください。</li> <li>Web 申込時の個人情報（旧姓になっていないか・住所変更）等、マイページの登録内容を最新の情報に更新してからお申込みください。<u>※Web と書類の内容が一致している事。</u></li> <li>ファーストレベルは単回申込のみ可となります。</li> </ol>		
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">郵送先</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>封筒左端に<b>朱書き</b>で「<b>〇〇レベル提出書類在中</b>」と明記してください。</li> <li>レターパックなど追跡可能な郵送方法をおすすめします。</li> <li>書類締切日は、申込期間最終日<b>必着</b>です。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">       〒160-0023        東京都新宿区西新宿四丁目2番19号        公益社団法人 東京都看護協会        教育部研修係     </div>		
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">応募書類チェックリスト</p>	<p>●<b>ファーストレベル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1. 受講動機と課題</li> <li><input type="checkbox"/> 2. 受講要件証明書【様式9】</li> <li><input type="checkbox"/> 3. <b>94円</b>切手を貼付し宛先を記載した<b>長3サイズ</b>返信用封筒</li> </ul>	<p>●<b>セカンドレベル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1. 小論文</li> <li><input type="checkbox"/> 2. 受講要件証明書【様式9】</li> <li><input type="checkbox"/> 3. 受講要件確認の書類            (①・②のいずれか1つ)            ①ファーストレベル修了証明書のコピー            ②勤務証明書【様式8】</li> <li><input type="checkbox"/> 4. <b>94円</b>切手を貼付し宛先を記載した<b>長3サイズ</b>返信用封筒</li> </ul>	<p>●<b>サードレベル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1. 小論文</li> <li><input type="checkbox"/> 2. 受講要件証明書【様式9】</li> <li><input type="checkbox"/> 3. 受講要件確認の書類            (①・②のいずれか1つ)            ①セカンドレベル修了証明書のコピー            ②勤務証明書【様式8】</li> <li><input type="checkbox"/> 4. <b>94円</b>切手を貼付し宛先を記載した<b>長3サイズ</b>返信用封筒</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">その他</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>受講料は期日までに納入してください。尚、納入された受講料は原則として返金いたしません。</li> <li>受講決定後に、氏名の変更・勤務先の変更があった場合は、研修開始前に必ずご連絡ください。</li> <li>当協会の個人情報管理規程に基づき、個人情報の取得・利用を適切に行います。提出された個人情報に関しては、研修に伴う書類作成・発送に用い、この利用範囲を超えて個人情報を取り扱うことはいたしません。</li> <li>提出された書類は、返却いたしません。</li> <li>受講決定後に受講をキャンセルされる場合は、電話で連絡のうえ <u>受講辞退届【様式10】</u>を提出してください。</li> </ol>		
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">問合せ先</p>	<p>◆研修申込みに関する事      Tel : 03-6300-5584 (研修係)          ◆会員登録に関する事        Tel : 03-6300-5452 (会員係)</p>		

## 令和5年度『認定看護管理者教育課程』受講者の感想

### \*ファーストレベル受講者の感想

同じ志を持った仲間と話をすることで、現場では味わえない楽しい時間を過ごせました。苦手なレポートに対しどう取り組むか不安でしたが、講義の中に盛り込まれていたのが、方法が分かりレポートに対する苦手意識がなくなりました。

全ての講師の話が臨床の場では学べない事ばかりで、たくさん学び、知ることができた。違う施設の方々とたくさん話す時間もあり、悩みはみんな一緒なんだと安心した。情報や意見を交換する事で、自分のモチベーションもあがった。こんなに集中的に勉強する事はそうそうなく、自分の看護師人生の中で大切な学びの場となった。

研修で学んだ知識を活用し運営する事で、患者にもスタッフにも過ごしやすい環境を作ることができると感じました。そのような施設が増えれば、看護職全体の人材確保にもつながり、看護職全体が盛り上がっていきけると感じました。

もっと早く受講すればよかったですと思いました。看護管理者として、このような教育課程があつて本当に良かったと思いました。

### \*セカンドレベル受講者の感想

研修の講義だけではなく、実習の交渉や管理者としての行動等、様々な場面で学ぶことができました。管理について何をしなければいいのかと悩んでいた部分が、研修全体を統合していく中で、管理者としてどう考えていくのか、また毎回の講義を通して、今までの自分の行動について振り返り、どう行動していけばいいのか考えることができる機会でした。

自分の病院を客観的に見ることができました。参集でしたので仲間ができました。

他施設の方との出会いが一番大きく、問題を抱えているのは自部署だけではないことが理解できました。また「何か本来の問題なのか」を明確にすることで、取り組むべきことが何か学ぶことができました。

楽しかったです。自身のポジションやマネジメントで悩んでいたタイミングで受けられたことも要因だと思いますが、これだけ充実した研修は初めてでした

グループダイナミクスの力を感じました。同じ立場の方達と仲良くなれて嬉しかったです。

トップマネージャーとして必要な能力について、充分学ぶことができました。対面での学習だったので、より意欲的に取り組めた。学習しやすい環境だった。

### \*サードレベル受講者の感想

講義が全て興味深い内容で、看護管理を行なっていく上で本当に必要な内容でした。レポートや組織の改善計画の立案は大変でしたが、日程的には程よい感じでした。対面式の研修で、多くの仲間と色々な情報交換が出来たことと、これからも繋がっていけることが一番の収穫でした。

今までの自分の視野の狭さを思い知らされた。自施設の、自部署のことしか考えていなかったと言ってもいい。東京都が、日本が、世界が、今がどんな状況で、これからはどうなっていくのか、だから私たちは何をしなければならぬのか、講義を通して何度も何度も考えさせられた。考えていた以上に講義内容は自分を成長させたと感じている。

目的であった自身の知識のアップデートや問題解決に向けた取り組み方を学べ、看護管理者としての多くの示唆を得ることができた。やはり、対面型の研修を選択して良かったと実感している。

## よくある質問

**Q1. 応募の段階で、令和6年度の入会手続きが完了していません。受講の際に会員価格になりますか？**

A：会員価格の適用は可能ですが、研修申込(Web画面)の際は「会員でない方」を選択してください。申込画面に入りましたら、「令和6年度の入会手続き状況」をお伺いする設問がありますので、必ず「入会手続き中」に☑を入れてください。追って、協会側で入会確認をいたします。ご不明な場合は、下記研修係までお問合せください。

**Q2. 他県の看護協会の会員です。研修を受講したいのですが、東京都看護協会の会員が優先で、他県の看護協会の会員は受講できないのでしょうか。**

A：受講要件を満たしている方は、どなたでもご応募いただけます。小論文と応募書類により受講者を選考しますので、東京都看護協会の会員を優先するということはありません。

**Q3. 看護師として5年以上の実務経験がありますが、現在の職場では3年しか勤務していません。看護師免許のコピーの提出では証明にはならないのでしょうか。**

A：看護の実務年数が5年以上あるということの証明が必要ですので、看護師免許のコピーでは代用できません。育児休暇や進学のための休職など、離職期間がある場合もありますので、前職・前々職等で受講要件証明書【様式9】に実務年数の証明をしてもらう必要があります。

**Q4. 受講要件証明書【様式9】・勤務証明書【様式8】の施設長名は、看護部長名でも良いですか。**

A：受講要件に関わるため、施設の証明が必要になります。施設長名と施設の公印が必要です。

**Q5. 2月の申込期間中は、実務経験が4年10カ月です。4月になると、実務経験が5年になりますが、実務経験5年以上として応募できますか。**

A：受講時に実務年数が5年以上であれば、応募していただくことは可能です。ただし、受講前に退職される方もおりますので、受講前に実務年数が5年以上であることを証明するために、受講要件証明書【様式9】を再度提出していただく場合もあります。

**Q6. ファーストレベル・セカンドレベル修了証明書を紛失してしまいました。再発行は可能ですか。**

A：東京都看護協会のファーストレベル・セカンドレベルを修了している方の修了証明証の再発行は可能です。手続き方法は東京都看護協会のホームページを参照してください。なお、再発行には3週間程度の日数が必要になります。

## 令和6年度から受講料支払方法が変更になります！

令和6年度より、従来の「払込票」郵送を廃止し、スマートフォン等でのお支払いに変更となります。登録されたメールアドレスに「URL付きの受講料支払案内メール」をお送りいたします。

(宛先) **会員：マイページに登録のメールアドレス**

**非会員：研修申込時に入力したメールアドレス**

となります。受講決定メールの受信から数営業日後に受講料支払案内メールが届きますので、メールの内容をよくご確認ください。お支払いいただきますようよろしくお願いいたします。

令和6年度 認定看護管理者教育課程 募集要項  
ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベル



〒160-0023 東京都新宿区西新宿四丁目2番19号  
TEL (03) 6300-5584 (研修係直通)  
URL <https://www.tna.or.jp/>